

沼高PTA会報

岩手県立沼宮内高等学校PTA事務局

〒028-4398 岩手県岩手郡岩手町大字五日市10-4 ☎0195-62-2388(職)・62-2334(事) FAX 0195-62-3203
ホームページアドレス <http://www2.iwate-ed.jp/nkn-h/> 印刷 河北印刷株式会社



あるがままの人生を

PTA会長
滝口 純子

厳しい寒さの中にも春の訪れを感じられる弥生3月の良き日に沼宮内高校を卒業される39名の皆さんご卒業おめでとうございます。そして、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。今から3年前、真新しい制服に身を包み、期待と不安を抱き、この沼宮内高校に入学されました。早いもので、3年という月日が経ちました。

沼宮内高校での3年間で皆さんは、たくさん経験をしてきたことでしょう。進学する人、就職する人、各々がこれから進んでいく『あるがままの人生』のスタート地点に立っています。

『あるがままの人生』とは、自分の思いだけを押し通す『わがまま』ではなく、周囲の言葉や目の前の出来事に惑

わされず、自分主体で人生を生き貫くということなのです。その為には、自分の思いをしっかりと相手に伝え、相手の思いもきちんと尊重することが大切です。そしてそれにより良い人間関係につながっていくことでしょう。これらの人生の中で、必ず訪れる節目、節目において『決断』をしなければいけない時があります。決断には『責任』が生まれます。その責任を担ってこそ、自分の『あるがままの人生』になっていくのではないのでしょうか。いつも何もかもが上手くいくとは限りません。思い通りにならないこともたくさんあるでしょう。これから始まる『あるがままの人生』を想像してみてください。

沼宮内高校で過ごした3年

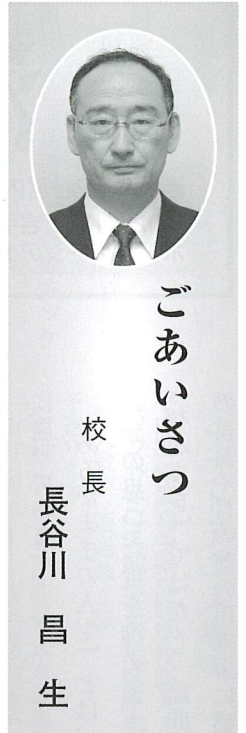
間、苦しいこと、楽しいこと、乗り越え、出会えた仲間、先生、そして支えてくれた家族。振り返れば、自分一人ではなかったはずですが。これからも「雪持ち笹」の精神を忘れずに活躍されることを祈念いたします。

会長職を任命されて2年が過ぎようとしています。ほんとうに微力な私ではございましたが、校長先生をはじめ諸先生方の温かいご指導をいただきながら、またPTA会員の皆様方のご協力とお力添えにより、諸行事を無事に終えようとしています。ありがとうございます。

最後になりますが、子どもたちがこの日を無事に迎えられることは、校長先生をはじめ教職員の皆様のご指導があればこそのこととPTAを代表し心より感謝申し上げます。



《愛媛国体》
第72回国民体育大会
少年男子優勝
ホッケー競技



ごあいさつ

校長 長谷川 昌 生

保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動に対し御理解と御協力、御支援をいただきありがとうございます。心から感謝申し上げます。お陰様をもちまして平成29年度も無事卒業式を迎えることができました。3年間お子様を見守り、学校生活を支えてこられた保護者の皆様のお喜びと安堵のお気持ちを御拝察申し上げます。誠にありがとうございます。

今年度のこれまでのPTA活動は、滝口会長、田中・田村・民部田副会長を始めとする役員の皆様の御協力の下、大変に充実した活動を行うことができました。5月と9月

の街頭指導、挨拶運動、6月のPTA総会、県高P連大会、7月の東北高P連大会、8月の全国高P連静岡大会、11月の仙台への研修親睦旅行、各委員会の活動等に御参加御協力いただきました。今年度は、文化祭でのバザーや食堂の開設に加えて、初めての試みとして体育祭でのPTAによる豚汁とかき氷の「おふるまい」を行っていただき、生徒ともどもおいしくいただきました。保護者、教職員が一体となって学校の活動を盛り上げるといふPTA活動の趣旨をより具体的な形で反映していただいたことに改めて感謝申し上げます。

卒業にあたって

三学年主任 中村 記 子

二〇一八年一月三日付けの朝日新聞「文化・文芸」の欄にこんなことが載っていた。昨年ベストセラーになった『応仁の乱』（中公新書）。諸大名の思惑が入り乱れ、一人

の勝者も生まずに終わった大乱で、主人公が見えない。著者の呉座勇一さんは、「桶狭間や関ヶ原の戦いのように」すばつと勝負が決まるのは例外」といい、「閉塞した社会

平成29年度は新入生42名を迎え、全校生徒108名でスタートしました。生徒は勉学に励みながら、部活動や生徒会活動、ボランティア活動等様々な分野でひとり二役も三役もこなしながら充実した学校生活を送っております。部活動では、不来方高校の2名を加えて岩手県選抜チームとして愛媛国体に出場した男子ホッケー部が見事に17年ぶりの全国優勝を果たし、岩手町町勢功労特別賞並びに岩手日報体育賞を受賞いたしました。また、男女とも岩手県大会、東北大会を勝ち抜き全国高校総体（インターハイ）、全国選抜大会に出場し、奮闘しております。さらには、年代別日本代表選手として田村陸君（21歳以下）、中花惇君・岩崎和也君・田村圭梧君（18歳以下）が選出され、国際大会等に出場しております。また、卓球部、サッカー部、ソフトテニス部は高校入学後に競技

を始めた生徒も懸命に努力を重ね、各種大会等で活躍しております。文化部では将棋部が外部コーチの熱心な指導を受けながら、県大会で入賞を果たしました。茶道部、造形芸術部（美術・書道）、吹奏楽・音楽部は、沼高祭でのお点前や展示、バイオリン体験講習会、石神の丘美術館での合同展・ミニコンサート等とおして地域の方々とのふれあいを積極的に行っております。

卒業生の進路決定概況については、別記のとおりです。就職支援相談員の川崎さんの協力を得ながら、社会人としてのマナー指導も含めて生徒一人ひとりの進路希望にに応じて全職員で指導に当たりました。就職に関しては、良好な雇用状況もあり、12月までには全員が内定をいただきました。進学に関しては、四年制私立大学5名を始め、岩手県立大学盛岡短期大学部、岩手

状況を、どう我慢して生き残っていくか。出口の見えないトンネルを歩き続ける覚悟をするしかない。」という。学生として過ごす間は、一定の年限で「卒業」という転機が必ずやってくる。しかし、ひとたび社会人となれば、長期戦である。時には息切れすることもあるし、なかなかゴールも見えて来ない。短距離走と長距離走では、走

県立産業技術短期大学校、岩手県立二戸高等学校看護学院等に合格しております。本校を取り巻く環境は、少子化や町外高校進学者の増加など大変厳しいものがありますが、岩手町を始めとする地域の皆様から多大な御支援をいただいております。平成30年度は岩手町から本校教育振興会への支援が大幅に拡大されることを受け、従来の部活動振興支援等に加えて、別記のとおり新入生への制服購入補助、国公立大学入学者への入学金相当額の給付、給食（副食）費補助等が実施されます。このような御支援に感謝し、「地域を支える学校」「一人ひとりの生徒がいいき」と生活する学校をめざし、今後とも生徒・教職員一丸となって取り組んで参ります。PTA会員の皆様の一層の御理解と御協力をお願いいたします。

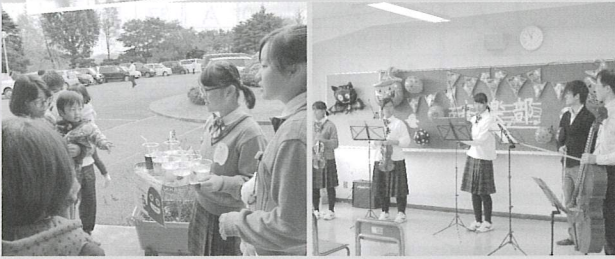
『しんがり』のような存在が重要だ。（鷲田清一『しんがりの思想』）（これからは）今までのリーダーのタイプとは違ってくると思う。五十年あれば、時代が大きく変わるという。今、世の中のリーダーたちが蒔いた種が、五十年後にどんな実をつけるのか。もしその時に、こんなものはいらないと思っても、それを変えるには、また五

り方も気持ちの持ち方も異なる。仮にペースは遅くとも、ゴールを信じて走り抜く覚悟を持つしかない。そして、前述の記事の続きには、もう一つ次のようなことが。社会が縮小してゆく時代、リーダーには「先頭で道を切り開いてゆくひとよりも、むしろ最後尾でみなを安否を確認しつつ進む登山グループの

り方も気持ちの持ち方も異なる。仮にペースは遅くとも、ゴールを信じて走り抜く覚悟を持つしかない。そして、前述の記事の続きには、もう一つ次のようなことが。社会が縮小してゆく時代、リーダーには「先頭で道を切り開いてゆくひとよりも、むしろ最後尾でみなを安否を確認しつつ進む登山グループの

り方も気持ちの持ち方も異なる。仮にペースは遅くとも、ゴールを信じて走り抜く覚悟を持つしかない。そして、前述の記事の続きには、もう一つ次のようなことが。社会が縮小してゆく時代、リーダーには「先頭で道を切り開いてゆくひとよりも、むしろ最後尾でみなを安否を確認しつつ進む登山グループの

文化祭



修学旅行



スキー実習



※進路指導部から※

十年かかるということになる。これから先、すぐに結果が

三年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。進路決定に向けて一所懸命に勉強と面接練習に取り組み、合格・内定を得ることが出来ました。また、保護者の皆様には、日頃から本校の進路指導に関して御理解、御協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、ハローワーク盛岡の統計によりますと、平成二九年十月末時点での管内求人数は昨年同期より二二六人増の一八三四人となりました。全

出ることばかりではない。しかし、いつも目先のことだけ

体でも五五二三人となり、八年連続で増加しています。平成二一年度の県内の求人が一五二〇人でしたので、三・六倍になります。県内全体の就職内定率は十月末現在で八六・三%となり、昨年とほぼ同じになりました。この数字だけ見れば、就職は簡単に決まるように思われますが、岩手県の生徒が就職してから三年以内離職率が依然として高い状態にあります。平成二六年三月卒業の県内生徒の離職率は四一・三%、全国平均では四〇・八%となつていま

ではいけない。時には将来を見据え、自分のため、誰かの

す。まだまだミスマッチが多いのが解消されていません。就職試験の様子を見ると、筆記試験の点数も大事ですが、面接を重要視する企業が多いように感じられます。面接での感触が良いと内定がもらえる傾向が強く、コミュニケーション能力を問われている状況がはつきりと見られました。人口減少と大学生の就職状況の好調により今まで高校生を採用していなかった企業からの求人が更に増加したので、生徒たちには正確な情報を伝えていきます。

ために力強く歩んでほしいと思う。

上級学校への進学率は三五・九%となりました。進学には早期からの進路計画が必要ですので、担任又は進路の先生に相談してください。本校では推薦・AOによる進学者が多数ですが、入学後に困らない学力を身につけるために課外授業を実施しています。また、来年度からは岩手町からの支援により学習活動への補助が増え環境が整いますので、進路実現に向けて全力で取り組んでいきます。

平成29年度 進路状況 (平成30年1月20日 現在)

※進学希望者2名未定

項目	卒業生数 (在籍者数)	進学合格者数						就職内定者数				公務員・ 自営・ 故	進路準備等
		合計	大学		短大	医療系短大・ 専門学校	専門学校等	合計	管内	県内	県外		
			国公立のみ	国公立総合計									
男	20	6	4	0	0	0	2	12	9	0	3	2	0
女	19	6	1	0	2	1	2	11	8	0	3	0	0
計	39	12	5	0	2	1	4	23	17	0	6	2	0

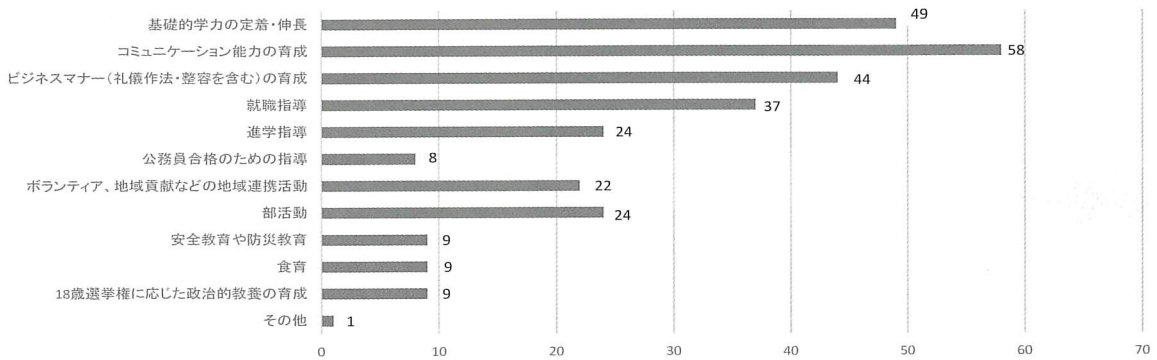
H30. 1. 11～19実施、回答102名 96. 2% (昨年度149名 99. 3%)

H29 保護者による学校評価

評価基準	「そう思う」と「ややそう思う」の合計			
	80%以上	A	65%以上	B
	45%以上	C	45%未満	D

質問項目 (回答:A=そう思う、B=ややそう思う、C=あまり思わない、D=思わない)	今年度の評価 (%)					昨年度の評価 (%)				
	総合評価	A	B	C	D	総合評価	A	B	C	D
1 経営方針はわかりやすく説明されている。	A	22	63	16	0	A	25	58	17	2
2 「特色ある学校づくり」に努めている。	A	16	64	20	1	B	20	57	20	4
3 「開かれた学校づくり」を推進し、地域のために役立っている。	B	20	54	25	1	B	23	54	22	3
4 P T A 会報等の保護者あて発行物の内容は適切である。	A	28	61	11	0	A	34	55	11	1
5 本校と家庭との連携は十分に図られている。	A	29	54	16	1	B	25	54	20	3
6 教員の保護者への対応の仕方、接し方は適切である。	A	38	54	8	0	A	32	59	8	3
7 学校行事はバランス良く編成されている。	A	27	60	12	1	A	30	53	16	3
8 学習の環境が整っている。	A	25	62	11	2	A	24	56	18	4
9 生徒は高校生らしい服装をし、挨拶やマナーが良い。	A	31	62	7	0	A	32	58	11	0
10 いじめや暴力等のない学校づくりに努めている。	A	34	53	13	0	A	34	53	12	3
11 本校は遅刻・欠席・早退をしないような指導がされている。	A	36	60	3	1	A	36	54	12	0
12 生徒が必要とする進路に関わる情報を十分に提供している。	A	38	56	6	0	A	37	50	12	2
13 個別面談がよくなされ生徒の相談にのっている。	A	40	51	8	1	A	34	53	12	2
14 教員は生徒に対して配慮ある態度や言動を心がけている。	A	34	57	8	1	A	35	52	13	2
15 教員の生徒に対する学習評価は適切である。	A	34	59	7	0	A	37	55	8	2
16 部活動は適度に (内容、休み、費用等) 実施されている。	A	39	50	11	1	A	39	50	11	2
17 学校徴収金の金額は適切である。	A	47	48	5	1	A	41	49	10	1
18 入学させて良かったと感じている。	A	52	44	3	1	A	52	42	7	1

指導を強化して欲しいこと (3つまでの複数回答)



学校への意見や要望 (自由記述)

1年	保護者の参加も含む行事等ある場合は、早めに教えてほしいです。進路指導に関しては、1対1でまめに生徒の話を聞いてアドバイスして頂きたいです。
1年	冬のスキー授業は必要なのか？。中学校はスキー授業がなかったため、スキーウェアを買う必要が無かったが、高校に入ってスキーウェアを買わざるをえなくて・・・。数回しか着ないのに、もったいない。
1年	クラス内で授業妨害をしている生徒が何人かいるようです。そういう生徒に対してのペナルティなど対応して欲しいと思います。
2年	大学に関わる学習に力をいれてほしい。
2年	来年度でこちらの高校にお世話になるのは4年目となります。先生方、保護者の方々には大変お世話になっております。学校での行事も、保護者参加の行事が一つ増え、私としては、子供たちの体育祭の様子が見れて、とても楽しそうにしているので良かったです。来年度も、何か作ってあげられたら良いと思います。学校にも先生方にも、とても満足しています。ますますの発展、望んでいます。
2年	ゴルフの授業は、1年生から始めるべきだと思う。近くにゴルフ場があるのにもったいない。ゴルフのスポ少に入っている子供たちがいるので、高校でもゴルフができるようになっていけば入学する子供たちも増えてくると思います。
2年	岩手町はホッケーの町ですが、ホッケーだけでなく生徒の幅広い能力を発揮できる学校にして欲しい。学校への意見などではありませんが、家庭のしつけや養育も父母の基本だと思います。特に情報 (スマホ) や食育については難しいと感じています。
3年	来年度 (4月) からの給食実施や制服代補助等はとてもいいアイデアだと思います。これでどのくらい人が集まるかはわかりませんが、もっと地元の中学生たちが地元の高校に集まるように、決してなくなる事のないようにしてほしいです。
3年	学校指定の中用ズックを地元の店で購入できるようにしてほしい。

保護者の皆様へ

「平成29年度 保護者による学校評価アンケート」へのご協力ありがとうございました。集計結果につきましては、ご覧のとおりとなりました。今後ともPTAの活動にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。不明な点は、本校の副校長にお問い合わせ下さい。

【お知らせ】 平成30年度より岩手町からの沼宮内高校教育振興会への補助金が大幅に増額されます。以下、事業の概要を示します。

- 1 部活動強化 ホッケー部の全国大会出場・県外遠征補助、部活動助成
- 2 学習支援 (1) 活性化事業 (2) 学力向上対策、進路指導充実 (3) 各種検定受験奨励 (4) 四年制国立大学進学者入学金相当額補助
- 3 沼高生活応援 (1) 入学時の制服代等補助 (1人3万円) (2) 生徒の対外活動費補助 (3) 町外電車通学支援 (通学定期の3割補助)
- 4 副食提供 町給食センターで調理されたおかずを希望者に提供 1食あたり195円のうち、95円を補助

PTA交流旅行

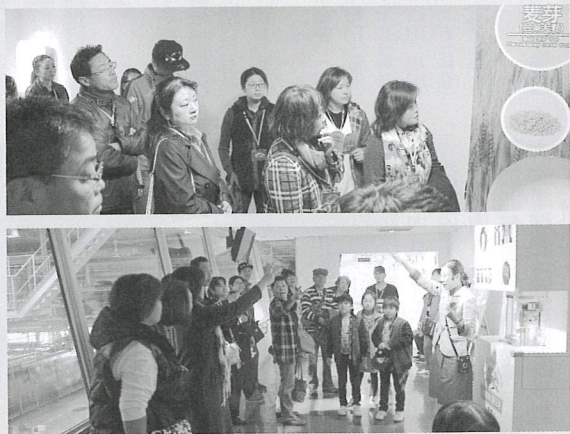
担当 滝口純子

例年6月～7月に行っておりました「PTA研修旅行」は「PTA交流旅行」と名称を改め、平成29年11月11日(土)に実施いたしました。

今年こそは天候に恵まれますようにと願いながら参加するも・・・やはり雨が降り出してしまいました。昔から楽しみにしている行事のときは必ず天気が悪いのです。これが世に言う「雨女」でしょうか。参加者は全員で17名。仙台キリンビール工場見学(ビール試飲3杯)お土産買い～昼食(牛タン)～三井アウトレット・うみのもり水族館(選択)という行程でした。おしゃべりをしながら楽しく一日を過ごすことができました。

高校ともなると、保護者同士でコミュニケーションを図る機会が少なく、気が付けば卒業を迎えていたということもたくさんあります。保護者間の交流を深めていきたいと考え企画いたしました。更に今回は、普段学校でお会いしてもお話しする機会が無いかもしれない校長先生にも参加していただきました。何気ない会話に喜びを感じるひとときでした。

今年参加できなかった皆さんも、来年こそは『PTA交流旅行』に是非参加して下さいね!



部活動の記録

ホッケー部

平成29年度全国高等学校総合体育大会ホッケー競技大会
男子80回女子59回全国高等学校ホッケー選手権大会

《男子》1回戦
沼宮内 1-2 今市(栃木)
(前半0-2)

《女子》1回戦
沼宮内 0-5 巨摩(山梨)
(前半0-1)

平成29年度国民体育大会ホッケー競技東北ブロック予選会兼第44回東北総合体育大会

《男子》準決勝
岩手 18-0 秋田
(前半8-0)

決勝
岩手 8-0 福島
(前半7-0)

《女子》準決勝
岩手 4-1 宮城
(前半2-1)



決勝
岩手 1-0 山形
(前半1-0)

《男子》準々決勝
岩手 5-1 愛媛
(前半3-1)

準決勝
岩手 2-1 福井
(前半0-1)

決勝 岩手 3-3 島根
(前半1-1)

※島根県と同率優勝
《女子》2回戦
岩手 1-5 島根
(前半0-2)

※第5位
平成29年度東北高等学校選抜ホッケー大会
《男子》準決勝
沼宮内 16-0 三沢(青森)
(前半6-0)

決勝
沼宮内 5-0 修明(福島)
(前半2-0)

《女子》1回戦
沼宮内 13-0 三沢(青森)
(前半6-0)



準決勝
沼宮内 3-1 米沢商業(山形)
(前半1-1)

決勝

沼宮内 2-1 築館(宮城)
(前半2-1)

第49回全国高等学校選抜ホッケー大会

《男子》1回戦

沼宮内 5-0 各務野(岐阜)
(前半4-0)

2回戦

沼宮内 1-2 山梨学院(山梨)
(前半0-0)

《女子》1回戦

沼宮内 4-7 巨摩(山梨)
(前半1-5)

サッカー部

高円宮杯 U18 2017 i-League(リーグ戦)

第6節 沼宮内0-15盛岡三

第7節 沼宮内2-8盛岡南

第8節 沼宮内0-5

グループジャ盛岡

第9節 沼宮内1-6盛岡四

第10節 沼宮内2-5盛大附

第11節 沼宮内2-2平館

第12節 沼宮内2-10盛岡農

第13節 沼宮内0-20盛岡三

第14節 沼宮内1-3盛岡南

ソフトテニス部

平成29年度岩手県高等学校新人大会ソフトテニス競技「戸地区」予選

《個人戦》通過数4組

予選リーグ

田村 岩本3-4鈴木・本宮(葛巻)

田村 岩本1-4熱海野辺地伊保内

畑山・欠畑④-2久保・向川原(葛巻)

畑山・欠畑④-0小林・田村(福岡)

代表決定戦へ

田中・大欠0-4常前・齋藤(一戸)

田中・大欠0-4高岡村田(福岡)

森・大石1-4村上・千葉(葛巻)

森・大石1-4和田・吉田(福岡)

岩崎・岩崎0-4元村・上方(葛巻)

岩崎・岩崎0-4古館小野寺(軽米)

代表決定戦

畑山・欠畑3-4高岡村田(福岡)

(以上5組 予選敗退)

《団体戦》通過数5校

リーグ戦

沼宮内1-2福岡

沼宮内②-1軽米・伊保内

沼宮内1-2一戸

沼宮内1-2葛巻

(1勝3敗で4位、県大会出場決定)

第62回岩手県高等学校新人大会ソフトテニス競技

《団体戦》1回戦

沼宮内1-2葛巻

卓球部

平成29年度岩手県ジュニア卓球選手権大会

瀧智也(2年)

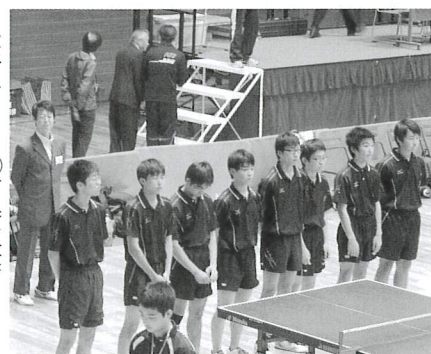
2回戦 ③-0松尾悠叶(盛北)

3回戦 1-③小水内陽斗(湯口中)

第20回MJオープン卓球大会

《団体戦》(男子)

沼宮内0-③弘前実業



沼宮内0-③石巻工業

沼宮内1-③水沢商業

沼宮内0-③盛岡市立

平成29年度岩手県高等学校新人大会卓球競技「戸地区」予選

《男子団体》リーグ戦

沼宮内1-③軽米

沼宮内1-③伊保内

順位戦 沼宮内2-③一戸

《男子ダブルス》

小川雄人(2年)・須賀理斗(1年)

2回戦進出

《男子シングルス》

千葉孝心(2年)・瀧智也(2年)

2回戦進出

第63回岩手県高等学校新人卓球大会

《男子団体》1回戦

沼宮内1-③不来方

第70回東京卓球選手権大会岩手県予選会

瀧智也(2年)

1回戦 ③-0石井智也(水沢工業)

2回戦 0-③伊藤丈一郎(専大北上)

平成29年度全国高等学校選抜卓球大会岩手県予選会

千葉孝心(2年)

2回戦 0-③千田一稀(水工)

瀧智也(2年)

2回戦 2-③山崎善伸(宮古)

木戸口魁永(1年)

1回戦 ③-1小向都也(久慈東)

2回戦 0-③鈴木裕樹(宮古工)

第87回北日本卓球大会

瀧智也(2年)

1回戦 ③-1畠山玲矢(秋田工業)

2回戦 ③-1高谷悠吾(花巻北)

3回戦 1-③三浦颯将(青森明德クラフ)

将棋部

第16回岩手県高等学校将棋竜王戦

《男子個人戦》

A級 50名出場

佐藤 海(3年)

2回戦敗退

B級 61名出場

山本 颯馬(2年)

3勝2敗 14位

滝川 和(3年)

3勝1敗 17位

第35回岩手県高等学校文化連盟将棋新人大会

《男子個人戦》

B級 69名参加

山本 颯馬(2年)

4勝1敗 4位

C級 63名参加

滝口 凱斗(1年)

3勝2敗 13位

その他の活動の記録

「小さな親切」運動

「小さな親切」実行章

平成29年度第49回岩手県高等学校生徒会誌コンクール

奨励賞

第8回いっしょに読もう！新聞コンクール

奨励賞

学校賞 奨励賞

第25回岩手町福祉作文コンクール
高校の部
最優秀賞 千葉菜摘(3年)

バランス朝ご飯レシピコンテスト
最優秀賞 田中麗音(1年)

優秀賞 森優希、大欠歩香(1年)

栄養士賞 乙茂内茉衣(3年)

委員長賞 高橋亜未(3年)

審査員特別賞 竹村勇(3年)

第1回カレグラプリ2017

敢闘賞 乙茂内茉衣(3年)

平成29年度石神の丘美術館岩手町小中学校・高校絵画コンクール

高校の部

最優秀賞

大石 風花(3年)

優秀賞

志田 啓太(2年)

山口 里奈(1年)

佳作

木下 楓(2年)

校内読書感想文

最優秀賞

工藤 一翔(3年)

優秀賞

大欠 歩香(1年)

松尾 咲希(1年)

佳作

大石 風花(3年)

田村 楓子(3年)

山崎 玲奈(3年)

畑山 知加(2年)

伊藤 碧海(1年)

平成30年若手町書初めコンクール

一般の部

入選

上道 愛美(3年)

欠畑 瑠奈(2年)

佳作

横田 リエ(3年)

笹久保聖蓮(2年)

高橋 惇平(1年)